

## 平成 26 年度事業報告書

公益社団法人第 3 期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

2015 年 6 月 27 日総会提出

公益社団法人日本地理学会が定款に定める事業の概要は以下の通りである。

- ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業（定款 4 条 1 号）
- ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業（定款 4 条 2 号）
- ③ 関連学術団体との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業（定款 4 条 3 号）
- ④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款 4 条 4 号）
- ⑤ 資格認定及び地理教育等の支援による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業（定款 4 条 5 号）
- ⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業（定款 4 条 6 号）
- ⑦ その他目的を達成するために必要な事業（定款 4 条 7 号）

### I 事業の状況

- ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業（定款 4 条 1 号）

#### 1) 研究発表会等

集 会 名	開催年月日	参 加 者
(1)秋季学術大会(富山大学)	2014 年 9 月 20 日～9 月 22 日	463 名
一般（口頭）発表（94）、ポスター発表（45）、シンポジウム(9 件・59)	9 月 20 日～9 月 21 日	
第 26 回地理教育公開講座	9 月 21 日	
研究グループ集会(16 件)	9 月 21 日	
懇親会(生協食堂)	9 月 20 日	225 名
巡検 2 件	9 月 22 日	
(2)春季学術大会(日本大学)	2015 年 3 月 28 日～3 月 30 日	971 名
一般（口頭）発表（195）、ポスター発表（85）、シンポジウム(10 件・66)	3 月 28 日～3 月 29 日	
第 27 回地理教育公開講座	3 月 28 日	
研究グループ集会(20 件)	3 月 29 日	
懇親会(百周年記念館アリーナ)	3 月 28 日	282 名
巡検 2 件	3 月 30 日	

#### 2) 総会等

- |                                |          |          |          |
|--------------------------------|----------|----------|----------|
| (1) 定時総会（第 1 回）2014 年 6 月 21 日 | 出席者 26 名 | 委任状 78 名 | 合計 104 名 |
| （臨 時）2015 年 3 月 27 日           | 出席者 49 名 | 委任状 48 名 | 合計 97 名  |
| (2) 代議員会（第 1 回）2014 年 9 月 20 日 | 出席者 50 名 | 委任状 55 名 | 合計 105 名 |
| （第 2 回）2015 年 3 月 27 日         | 出席者 49 名 | 委任状 48 名 | 合計 97 名  |
| (3) 理事会 5 回・常任理事会 12 回         |          |          |          |

- ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業（定款 4 条 2 号）

#### 1) 学会誌の刊行

- (1) 「地理学評論（Geographical Review of Japan Series A）」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
平成 26 年 5 月 1 日	87 3	3,500 部
平成 26 年 7 月 1 日	87 4	3,500 部
平成 26 年 9 月 1 日	87 5	3,500 部

平成26年 11月1日	87	6	3,500部
平成27年 1月1日	88	1	3,500部
平成27年 3月1日	88	2	3,500部

計6冊(87巻3号~88巻2号) 506ページ

論説12編、短報5編、資料1編、会長講演1編、書評26編、紙碑、フォーラム、学会記事等を掲載した。

(2) オンライン学会誌「Geographical Review of Japan Series B」(J-STAGE 公開)を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号
平成26年 10月3日	87	1

1冊(87巻1号・電子ジャーナル) 73ページ

第8回日中韓地理学会議特集号の記事5編(前書き1編、論説2編、短報1編、報告1編)、および論説1編、短報1編を掲載した。

(3) オンライン学会誌「E-journal GEO」を下記の通り発行した。

発行年月日	巻	号
平成26年 8月29日	9	1
平成27年 3月31日	9	2

計2冊(9巻1号~2号・電子ジャーナル) 422ページ

調査報告17編、各種解説記事5編、提言3編、シンポジウム記事12編、発表報告3編を掲載した。

2) その他の刊行物の刊行

「日本地理学会発表要旨集」を下記のとおり発行した。

発行年月日	号	発行部数
平成26年 9月10日	86	750部
平成27年 3月10日	87	1,200部

計2冊(86号~87号) 560ページ

③ 関連学術団体との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業(定款4条3号)

- 1) 地理関連学会連合に加盟し、代表を送り、事務局を務めた。
- 2) 地理学連携機構に加盟し、代表委員を送った。
- 3) 日本地球惑星科学連合に加盟し、代表を学協会長会議および学協会連絡委員会に送るとともに、関連する委員会に必要に応じて委員を送った。
- 4) 人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会に加盟し、代表委員を送った。
- 5) 自然史学会連合に加盟し、代表を送った。
- 6) 日本ジオパーク委員会活動に協力し、委員を送った。
- 7) 以下の23件について、他学会との交流を行った。

(1)2014年日本地球惑星科学連合大会

2014年4月28日(月)~2日(金)にパシフィコ横浜会議ホールにおいて開催された。

(2)富士学会2014年度春季学術大会(後援)

2014年5月24日(土)~25日(日)に富士市勤労者福祉センターにおいて開催された。

(3)日本学術会議公開シンポジウム「高校地理歴史教育に関するシンポジウム」(共催)

2014年6月14日(土)に東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE レクチャーホールで開催された。

(4)第1回「震災対策技術展」大阪(後援)

2014年6月17日(火)~18日(水)にコングレコンベンションセンターで開催された。

(5)第9回韓中日地理学会議(共催)

2014年7月30日(火)~8月4日(日)に韓国・プサン市において開催された。

(6)全国中学校地理教育研究会第55回全国研究大会(後援)

2014年8月1日(金)~2日(土)に日本地図センターにおいて開催された。

(7)第53回地図ならびに地理作品展(後援)

2014年9月6日(土)~20日(土)に広島市こども文化科学館において開催された。

(8)GIS day in 東京2014(後援)

2014年10月25日(土)に首都大学東京・南大沢キャンパスにおいて開催された。

(9)GIS day in 関西2014(後援)

- 2014年10月25日(土)に立命館大学衣笠キャンパスにおいて開催された。
- (10)旭川市「第24回私たちの身のまわりの環境地図作品展」(後援)  
2014年10月25日(土)・26日(日)に旭川市科学館において開催された。
- (11)岐阜県「第20回児童生徒地図作品展」(後援)  
2014年11月1日(土)～11月27日(木)に岐阜県図書館において開催された。
- (12)2014年度「初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰」(後援)  
2014年11月7日(金)～8日(土)に中部大学春日井キャンパスにおいて初等中等教育現場において、GISを実践的に活用した授業に取り組んでいる教員に対し、表彰が行われた。
- (13)鳥取県「第16回児童生徒地域地図発表作品展」(後援)  
2014年11月15日(土)～12月20日(土)に鳥取市歴史博物館(やまびこ館)、倉吉未来中心、とりぎん文化会館において巡回展示が開催された。
- (14)第22回地図地理検定(後援)  
2014年11月23日(日)に開催された。
- (15)GIS day in 中国2014(後援)  
2014年11月28日(金)に広島大学東広島キャンパスにおいて開催された。
- (16)第23回風工学シンポジウム(協賛)  
2014年12月3日(水)～5日(金)東京大学山上会館において開催された。
- (17)多摩市「第18回身のまわりの環境地図作品展」(後援)  
2014年12月12日(金)～12月14日(日)にパルテノン多摩において開催された。
- (18)地理教育全国合同シンポジウム(協賛)  
2014年12月27日(土)に早稲田大学14号館101教室において開催された。
- (19)第18回全国児童生徒地図優秀作品展(後援)  
2015年1月10日(土)～2月22日(日)に地図と測量の科学館、国土交通省1階展示コーナー、NHKふれあいホールギャラリーにおいて開催された。
- (20)北淡国際活断層シンポジウム2015(後援)  
2015年1月12日(月)～17日(金)に兵庫県立淡路夢舞台国際会議場で開催された。
- (21)第47回地図展「横浜のまち みち みなと」(後援)  
2014年1月15日(木)～1月22日(木)に横浜港大さん橋国際客船ターミナル2階CIQプラザ(くじらのおなか)において開催された。
- (22)第19回「震災対策技術展」横浜(後援)  
2015年2月5日(木)～6日(金)に横浜国際平和会議場において開催された。
- (23)全国バスマップサミット in 関西(後援)  
2014年2月7日(土)・8日(日)に京都・姫路で開催された。

④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業(定款4条4号)

- 1) 平成26年度日本地理学会賞受賞者を表彰した。
- 優秀論文部門(1名): 稲垣 稜  
若手奨励部門(1名): 網島 聖  
論文発信部門(1名): 岩田修二  
優秀著作部門(1名): 水野一晴  
著作発信部門(2名): 上村直己、村田陽平  
地理教育部門(1名): 小野寺 徹  
学術貢献部門 該当なし  
社会貢献部門(1名): 柳原 望
- 2) 以下の2件について、出版助成を行った。
- 久保倫子著『東京大都市圏におけるハウジング研究—都心居住と郊外住宅地の衰退—』古今書院。  
荒井良雄・箸本健二・和田 崇編著『インターネットと地域』ナカニシヤ出版。
- 3) シュプリンガー・ジャパン(株)との間に取り交わした英文叢書出版覚書に基づいて、以下の4件を刊行した。
- K. Yamamoto. *The Agglomeration of the Animation Industry in East Asia*.  
Y. Ida et al. eds. *Geography Education in Japan*.  
S. Haruyama and T. Shiraiwa eds. *Environmental Change and the Social Response in the Amur River Basin*.  
K. Mizuno and L. Tenpa. *Himalayan Nature and Tibetan Buddhist Culture in Arunachal Pradesh, India*.

4)小林浩二研究助成として、若手研究者に対するヨーロッパ研究助成を行った。

飯塚 遼：「ベルギー・東フランドレン州における芸術家村の盛衰とジェントリフィケーション」

5)斎藤 功研究助成として、若手研究者に対するアメリカ研究助成を行った。

横山貴史：「チリ共和国における地域拠点型漁業資源管理の成立条件：生計アプローチによる分析」

6)若手研究者国際会議派遣助成として、若手研究者に対する研究助成を行った。

磯野 巧、植村円香、久保倫子

⑤ 資格認定及び地理教育等の支援による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業（定款4条5号）

1) GIS 学術士資格認定制度

2014年度は3回の委員会を開催した。2015年2月28日現在のGIS学術士実績証明団体は29、GIS専門学術士実績証明団体は14である。GIS学術士18名、GIS専門学術士2名、GIS学術士（見込み）35名の認定を行った。

2) 地域調査士資格制度

2014年度は4回の講習会及び委員会を開催した。講習会の受講者は、地域調査士講習会227名、専門地域調査士講習2名であった。また地域調査士31名、専門地域調査士6名の認定を行った。2014年2月28日現在、学部科目については19大学・21学科（コース）、大学院科目については5大学院の開設科目が認定されている。さらに、2014年度から地域調査士認定に「申請前部分審査」制度を導入し、年度内の認定を目指す者52名が適合審査を請求した。地域調査士通信を2号（2014年10月、2015年3月）発行した。

3) 「G空間EXPO2014」（2014年11月13日（木））に参加し、「G空間のナカミを科学する—仏に魂を入れる地理学」の企画を実施した。シンポジウムは120名の参加者があった。

4) 国際地理オリンピック大会（ポーランド）を支援した。36か国144名の選手が参加し、日本選手は銀メダル1名と健闘した。

5) 一般市民を対象とする地理教育公開講座「ヨーロッパ世界地誌Q&A」（秋季学術大会；参加者約60人）、「東南アジア&オセアニア世界地誌Q&A」（春季学術大会；参加者約60人）を実施した。

6) 秋季学術大会において、一般市民を対象とする公開講座「平成の大合併の総括と合併自治体の新しい動き」（参加者約110人）、「北陸におけるジオパークの現状と課題—地域の性格から引き出されるジオストーリー—」（参加者約150人）、「BLSの地理的空間—救急医療と地域防災への連携を考える—」（参加者約50人）、「学校における地誌学習の現状・課題・展望」（参加者約60人）を実施した。また春季学術大会において、「ジオパークにおける教育力—変動する地球で生き残るために、何をどうやって、どのように伝えるか—」（参加者約60人）、「はたらく地理学—防災分野における地理学出身者の活躍と課題—」（参加者約200人）を実施した。

7) 秋季学術大会および春季学術大会において、高校生によるポスターセッションを実施した。秋季3件、春季20件。

⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業（定款4条6号）

1) 日本地球惑星科学連合2014年大会

国際セッションとして「人間環境と災害リスク」を一般セッションの提案母体となって関連学会と共催して提案したほか、GLPとの関係を踏まえ「地球環境変化の人的側面研究計画IHDP（国際セッション）」、「Future Earth関係のユニオンセッション」を関連学会等と共催して提案した。

2) 第9回韓中日地理学会議（共催）

2014年7月30日（火）～8月4日（日）に韓国・プサン市において開催された。

3) 英文叢書として4冊を刊行し、日本における研究成果の国際的な発信に努めた。

⑦ その他目的を達成するために必要な事業（定款4条7号）

1) 東日本大震災ほかの災害に対する調査研究および社会貢献事業

2) ジオパークに関する調査研究および社会貢献事業

## II. 処務の概要

### ① 役員等に関する事項

平成 26 年度末現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職	備考
理事長	非常勤	菊地 俊夫	平成 26 年 6 月 21 日		なし	首都大学東京教授	
常務理事	非常勤	呉羽 正昭	平成 26 年 6 月 21 日	総務専門委員長	なし	筑波大学教授	
常務理事	非常勤	江崎 雄治	平成 26 年 6 月 21 日	財務専門委員長	なし	専修大学教授	
理事	非常勤	堤 純	平成 26 年 6 月 21 日	総務専門副委員長	なし	筑波大学准教授	
理事	非常勤	近藤 章夫	平成 26 年 6 月 21 日	財務専門副委員長	なし	法政大学教授	
理事	非常勤	川口 太郎	平成 26 年 6 月 21 日	集会専門委員長	なし	明治大学教授	
理事	非常勤	春山 成子	平成 26 年 6 月 21 日	交流専門委員長	なし	三重大学教授	
理事	非常勤	須貝 俊彦	平成 26 年 6 月 21 日	企画専門委員長	なし	東京大学教授	
理事	非常勤	小口 高	平成 26 年 6 月 21 日	広報専門委員長	なし	東京大学教授	
理事	非常勤	松井 圭介	平成 26 年 6 月 21 日	E-journal GEO 編集専門委員長	なし	筑波大学教授	
理事	非常勤	加賀美雅弘	平成 26 年 6 月 21 日	地理学評論編集専門委員長	なし	東京学芸大学教授	
理事	非常勤	渡辺 満久	平成 26 年 6 月 21 日	地理学評論編集専門副委員長	なし	東洋大学教授	
理事	非常勤	若林 芳樹	平成 26 年 6 月 21 日	Geographical Review of Japan Series B 編集専門委員長	なし	首都大学東京教授	
理事	非常勤	井田 仁康	平成 26 年 6 月 21 日	地理教育専門委員長	なし	筑波大学教授	
理事	非常勤	長谷川 均	平成 26 年 6 月 21 日	資格専門委員長	なし	国士舘大学教授	
監事	非常勤	山下 清海	平成 26 年 6 月 21 日		なし	筑波大学教授	
監事	非常勤	岡橋 秀典	平成 26 年 6 月 21 日		なし	広島大学教授	

### ② 職員に関する事項

平成 26 年度末現在

勤務形態	当期末 (平成 27 年 3 月末)	前期末比増減
常勤	1 名	0 名
非常勤	4 名	0 名

③ 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 26 年 6 月 7 日	1. 会員の入退会について 2. 2013 年度事業報告について 3. 2013 年度決算報告について 4. 2014 年度定時総会について 5. 会長の選任について 6. 役員の選任について 7. 「斎藤 功研究助成」取扱規程について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
平成 26 年 6 月 21 日	1. 理事長および常務理事の選定について	承認
平成 26 年 9 月 27 日	1. 会員の入退会について	承認
平成 26 年 12 月 13 日	1. 会員の入退会について	承認
平成 27 年 3 月 14 日	1. 会員の入退会について 2. 名誉会員の推薦について 3. 2014 年度補正予算案について 4. 2015 年度事業計画案について 5. 2015 年度収支予算案について 6. 「連絡先不明終身会員の取扱いに関する規程」について 7. 「未収金に関する内規」について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

(2) 総会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 26 年 6 月 21 日	1. 2013 年度事業報告の承認に関する件 2. 2013 年度収支決算の承認に関する件 3. 会長の選任に関する件 4. 役員の選任に関する件	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認・決定 全会一致で承認・決定
平成 27 年 3 月 27 日	1. 名誉会員の推薦に関する件	全会一致で承認・決定